

北海道教区報

第538号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話 011(561)-1148
FAX 011(561)-1190
E-mail:kyonku-h@vega.ocn.ne.jp

印刷

三浦印刷株式会社

各地で加速する 人材育成への動き



よさこいひのきしん 今年も通訳ひのきしんも

今回で26回目となるYOSAKOI Iソーラン祭り。日本全国はもとより、今年は台湾、韓国、ロシアからも参加者が。その中大会本部より要請を受け、例年清掃ひのきしんをさせて頂いていたが、今年も通訳を兼ねての案内をする「インフォメーションセンター」も受け持つことに。

ひのきしんの時の服装は、大会専用白いスタッフジャンパーに、教区でアレンジした名札をつけていたが、今回初めて大会本部が名札に「天理教」と名を入れて作ってくださった。長年の先輩たちの真実が、一つの形となって表れたうれしい出来事であった。

また、ひのきしんに参加くださる方々に受付テントがよくわかるようにと、青年会で提唱された。

「親孝行 夫婦仲良く 陽気ぐらし」の言葉を横断幕に書いてテント前にかけてたところ、設営場所は全国から集まってくるチームの方々が必ず踊る場所なので、大きなにいがけとなり、こちらから話かけなくても、様々な方から話かけて頂き、中には「私も天理教です」と笑顔で声をかけてくる方も。

またごみを収集する際、一般の方にごみを入れて頂いた時には、必ず「ありがとうございます」という言葉をかけます。すると必ず、ごみを入れる人からも、「ありがとう」の言葉が返ってきました。

喜びとありがたの中、ひのきしんをつとめさせて頂く事がこんなにも心地よいものだと思えて感じる事ができました。

(記・久米田忠彦)



「天理教鼓笛ドリームバンド」 旭川で堂々の行進！

6月3日音楽イベントとしては、全道一の規模を誇る「北海道音楽大行進」に、天龍支部の高台鼓笛隊（北森吉郎代表）と小樽支部鼓笛バンド（境真亮代表）の合同チーム32名が出演。旭川の昭和通りを埋めた15万人を超す観客の中を堂々と行進。「天理教ドリームバンドです」というアナウンスと、鼓笛のファイフの音が人々の心に響いた。

この音楽の祭典は、以前、北海道護国神社の慰霊音楽祭という催しだったが、現在は慰霊の文字は消え、全道一の音楽大行進となった。

参加する102団体、約4000名のほとんどが吹奏楽という金管楽器を主とする団体であるが、ドリームバンドはその中、ファイフ（横笛）とグロッケン（鉄琴）の澄んだ音色を響かせて、胸を張って誇らしげに行進する子供たちには、多くの観客から盛んな拍手が送られていた。

婦人会委員長講習会

教区婦人会は、5月31日委員長講習会が教務支庁を会場に開催した。

当日は記念講演に、婦人会本部委員 上村和枝先生をお招きし、身上・事情からご苦労下された中での自身の心の動きをお話しくだされ、参加者一同、道の台としての思いと、これからの歩みをあらたにした。講演後先生が一人一人をお見送りしてくださる姿に、みな心にぬくもりをいただいで散会した。

参加者 348名



婦人会 第1回女性の集い(仮称)開催

教区婦人会では、6月3日か

ら4日にかけて第一回女性の集いを教務支庁を会場に開催した。

昨年開催された女子青年大会を契機に、教区婦人会ではねらいを重ね、女子青年(25歳まで)としてのつとめを終えた後でも、途切れることなく教会につながるよう丹精していこうと、未婚の26歳から35歳までの会員を対象に「女性の集い(仮称)」を立ち上げる運びとなった。

当日は9名の参加者があり、おつとめをつとめたあと、教区主任のあいさつ、さらに会場を移し自己紹介をして、午後からは「基礎講座」を全員で受講。その後は夕づとめまでの2時間、おつとめ着の着付け講習を行った。

2日目は、朝食後の約2時間、女鳴物の心得と実技講習、教区主任講話と続き、その後2組に分かれてのグループワークを実施。これからできる親孝行をテーマに、現状や将来像などを図にまとめて各々が発表した。プログラムの中には、焼き肉や温泉などもあり、就寝までは時間を忘れ女子トークで盛り上がった。最後の感想では、感極まる場面もあり、1回目としては大変充実した内容で、継続的な開催が期待される。

室蘭支部おつとめ総会

(5月3日開催)



室蘭支部はとても仲の良い支部です。

それは、親の代からの「ひとすじ会」の良き伝統が維持されてきたからだと思えます。

おつとめには、少年会員もハッピー姿で加わり、記念講話も会長職50年、御年72歳の支部内の御前水分教会 池田正道会長様が、自分は支部の良き伝統に育てて頂いたと感謝の思いを、ユ一

モアたっぷりお話しされ、笑いを誘いながらも、次代を育てる後継者講習会に視点を向け、尚一層、横の働き、横の学びの大切さについてもお話しされ、良き伝統のひとコマを過ごすことができました。

(記 支部長岡崎秀人)

空知支部おつとめ総会

(5月7日開催)

新十津川分教会にて空知支部

おつとめ総会が開催された。本年も去年と同じく、五交代制でおつとめをつとめ、座りづとめを役員が、よろづよ八首を少年会、学生会、女子青年、青年会が合同でつとめ、一下り目から四下り目までを浦月・滝川・新十津川地区が、五下り目から八下り目までを美唄東・美唄西地区が、九下り目から一二下り目までを砂川・奈井江・赤平・芦別地区が担当した。おつとめ後、教区長メッセージ、支部長より挨拶があり、その後、7日は支部会議の日ということもあり、各担当者からの連絡会を実施。昼食の際には、去年と同様に、お下がりを景品としたビンゴ大会が開催され、大いに盛り上がり、大変陽気で賑やかな総会であった。参加人員 117名

紋別支部総会

(5月9日開催)

おつとめまなびでは、すわりづとめからよろづよ八首までを支部役職者がつとめ、その後十二下り目までを6交替で支部内各組が担当しつとめられた。

総会式典の支部長あいさつでは、天理教災救援隊が、国会の委員会でも取り上げられた様子がビデオで上映された。いつもながらの和気あいあいとした雰囲気の中で、前日の準備から直会まで無事行われ、大勢の教友とともに心勇んだ一日を過ごした。参加者50名(内少年会員1名)





◎釧根支部総会

(5月28日開催)

標準分教会を会場に釧根支部総会が開催された。当日は2部構成で勤められ、まずはおつとめまなびを3交替でつとめ、昼食をはさんだ第2部では式典の中で、教区長祝辞、教区婦人会主任祝辞をそれぞれ支部長・支部主任が代読し、さらに支部長からは、道の後継者育成に向けて一層充実した支部活動を推進していくこと、また婦人会主任からは、4支部合同母親講座をはじめとするこれからの婦人会活動について話があった。その

後、記念講演として、教区主事、文化広報部長である加地道喜氏が登壇し、座右のおふでさきにまつわるお話から、教祖ひながたの歴史を辿りながら信仰の喜びについてお話しくださった。

立教180年という節目の年に少年会員19名を含む101名の参加があり、支部一体となつてのようばくの育成を確認できた総会であつた。

◎空知支部で

母親講座「出産」を開催

5月20日、助産師である目黒和加子先生をお招きし、空知支部婦人会主催の母親講座が開催された。をびやためしの考察から教祖の親心を学ばせていただき、また、講師の助産師としての日々のお話しを通して、教祖を身近に感じる事ができた素晴らしい講座であつた。

お産のデモンストレーションと受精までのサバイバルの旅では、支部委員も熱演し、9名の託児スタッフの頑張りのおかげで、子連れのお母さん達もしっかり受講することができた。

参加婦人会員109名のうち、約4分の1が30歳以下の若い人だ



ちで、託児の充実や女子青年とも一手一つに取り組めた今回の講座は、今後の婦人会活動にとつても大きな布石となつた。

参加総計 148名

◎今年も「旭山動物園」でひのきしん

上川支部は6月11日、開園50周年で賑わう旭山動物園でひのきしんを実施。108名が園内の雑草取り、清掃作業に汗を流した。

このひのきしんは、昭和42年に旭山が開園して以来、支部として続けている伝統ある作業で、園長の坂東元さんが天理時



報のコラムを引き受けられたり、『ヒトと生き物、ひとつながりのいのち』という道友社の本になつたきっかけでもある。この日は、雨の続く日の中、珍しく合間の穏やかな天候で、一同は園内のメインの花壇や植え込みの雑草を刈つたり、清掃をしたりと、大勢の観光客の賑わいをよそにひのきしんをし、その後、お目当ての動物にも触れる時間を楽しんだ。

… ブロック別母親講座 開催のお知らせ …

ブロック	開催日時	会場	講師	立場
A	8月29日12時～	北斗市総合文化センターかなでーる	窪田りか先生	南山分教会長夫人
B	8月31日13時～	教務支庁	村田和香先生	所沢市分教会長夫人、天理教美術会員
C	8月29日13時～	上川分教会	未定	
D	8月29日11時～	西幣舞分教会	若狭一廣先生	船東分教会長
E	8月27日10時～	稚内分教会	可児玉代先生	教区婦人会常任委員

※一人でも多くの方にお声をお掛け下さい。

新会長さん紹介

(平成29年6月26日お運び) 空知支部

月形分教会(那美岐) 奉告祭 7月9日



神原敬直氏 (75歳)

小樽支部 開榮分教会(郡山) 奉告祭 8月29日



高橋雄一郎氏 (32歳)

天理教学を学ぶ会 第一回公開講座

テーマ「今、天理教学が 取り組むべき課題とは」 講師・佐藤浩司先生 (天理大学名誉教授)

日時・8月7日(月) 午後1時～3時半

場所・教務支庁大会議室 受講費・500円 親睦会・参加費別途千円 申込み・7/31迄、新井田健治(積丹分教会)

TEL、fax 0135-22-3928まで どなたでもご参加下さい。

基礎講座開催報告

基礎講座北海道会場は、6月3日に教務支庁で、18日は千歳市(千恵広支部長・岩谷清隆)に会場を設けて開催、それぞれ32名、57名の受講があった。

★教務支庁会場では本部講師を招き、また婦人会の協力を得て託児を設けるなどして呼びかけにつとめた。当日は婦人会が本講座を活用され、若い女性の方が多く受講。また、小さなお子さんを持つお母さんも家族で受講された。「以前は子どものことで迷惑をかけるのではと受講を控えていたが、託児があると聞いて、今日は安心して受講できとても満足しています」と喜びを語ってくれました。

★千歳会場は天理教漁分教会(岩谷清隆会長)で開催、支部長を始め、支部担当者や管内の教会長らの「地域を挙げての丹精」により、予想を上回る受講者であった。また受講者のアンケートでは、「基礎講座は講師の実体験を例えに、かじものかきものものの教理を分かりやすく説明してくれるのがいい」との好評を頂いております。 ※次回は7月16日稚内市の稚内分教会で開催いたします。

道の教職員の集い総会

道の教職員の集いは、6月17日教務支庁にて第42回総会が、17名の参加のもと開催された。総会では、事業報告や活動計画、予算決算報告、役員人事の承認がされ、今後の会の内容充実と発展に向けて意見などを交換し、確認しあった。午後からは教育研修として、福島太美夫先生(天理小学校教諭)と永関正元先生(砂川分教会長)の講話を聞き、教祖の教えを如何に子供や人に伝えていくかを学んだ。引き続き、練り合いを通して、心を育てる教育をどう実践していくか等を学び合い、教育者として意識を高め合うために、お互いの連携を図る良い機会となった。(代表、長井徹雄)

けいじばん

◎法律に関する諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。教務支庁内の書記(渡部)までご連絡下さい。

◎手話・点字講習会

毎月1日、教務支庁にて午後6時から8時まで行います。 ※雅楽練習会も併行して開催しています。(二布連)

◎毎月26日に本部月次祭選拜式をおこなっております。

◎H29年天理教関係書籍常備店 札幌市・コーチャンフォー

(新川通店・ミノンヘン大橋店)

紀伊国屋書店(札幌本店)

旭川市・ジユンク堂書店 (旭川店)

◎学修飛行機便

行き 8月9日 帰り 8月15日

申込締切は7月15日

お問い合わせは教区学生担当委員会まで

◎まなびばin

小樽・余市・倶知安ブロック 7月16～17日

◎ひのきしんスクール

「依存症」今年で4年目 8月19日 深川経済センター

教務支庁開催の行事のお知らせ

●学生担当委員会

育成に役立つ講習会 対象は15歳以上の学生以外 7月8～9日

●婦人会

ままつぶの集い 7月16日

●福祉厚生部

天理教民生・児童委員連盟 研修会 8月29～30日教務支庁

【計報】

元教区主事

・西尾庄市様 5月13日出直 (81歳) 北美分教会会長 (北見支部)

元教区会計部長・元南空知支部長 元渡島支部長

・宮野春美様 5月7日出直 (82歳) 上磯町分教会前会長 (渡島支部)

・金子照子様 5月12日出直 (96歳) 山小樽分教会元会長 (小樽支部)

・小松春枝様 5月30日出直 (83歳) 網陽分教会会長 (網走支部)

・中川順太郎様 5月31日出直 (86歳) 理の華分教会前会長 (南空知支部)

北海道教務支庁日誌抄

(5月20日～6月19日) 5月 21日 第185回基礎講座 札幌白豊会場 講師 高橋 政嗣先生

26日 本部月次祭選拜式 (受講 87名 累計 8千241名)

27～28日 教区合唱団練習日 29日 布教の家 察祭 図書修理会

6月 31日 婦人会委員長講習会 1日 たすけ推進会議 2日 支部長会議

3～4日 婦人会主催女性の集い (26～35歳対象) 第186回基礎講座教区会場

本部講師 山田 常則先生 (受講 32名 累計 8千273名)

4日 任命願書発送 10～11日 育成部YOSAKOI

17日 道の教職員の集い総会

18日 教区報編集会議